

株式会社日本アクア
平成30年12月期
第2四半期決算説明会

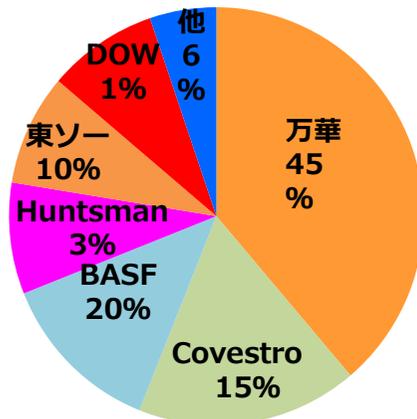
平成30年8月24日

株式会社日本アクア
(証券コード1429)
〒108-0075
東京都港区港南2-16-2
TEL:03-5463-1117
FAX:03-5463-1118

平成30年12月期 第2四半期の決算について

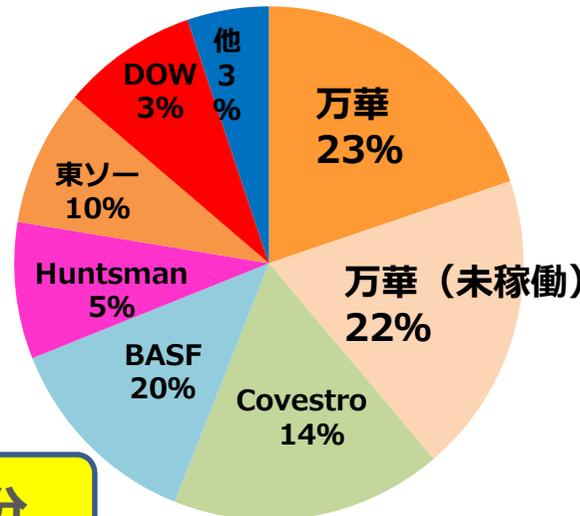
イソシアネート アジアの生産能力

2016年度イソシアネート
アジア生産能力実績
(400万トン/年)

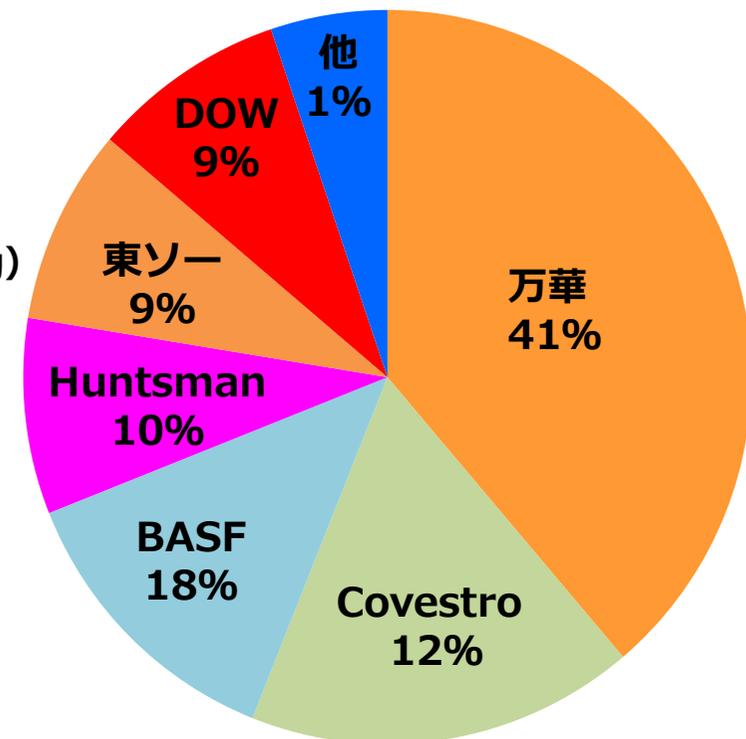


稼働率半分

2017年度イソシアネート
アジア生産能力実績
(320万トン/年)



2018年度イソシアネート
アジア生産能力見込み
(480万トン/年)



稼働率後半より回復

◆市況レビュー

2016年度からアジアの生産能力は80万トン増えたにもかかわらず、2017年の夏頃より、プラントでの生産トラブルが相次ぎ、**中国の環境規制**などで稼働率が約半分となった。これにより、需給の引締まりが発生し価格が上昇した。今年の4月から下落傾向となったが6月までは比較的高止まりのまま推移した。

平成30年12月期第2四半期の業績



前年同期比+5.5%の増収を達成

単位;百万円

百万円	H29 1-6月	H30 1-6月	対前年
売上高	8,383	8,844	+5.5%
営業利益	622	45	△92.8%
経常利益	614	42	△93.2%
四半期純利益又は 四半期純損失(△)	396	△5	-%

平成30年12月期第2四半期決算の概要

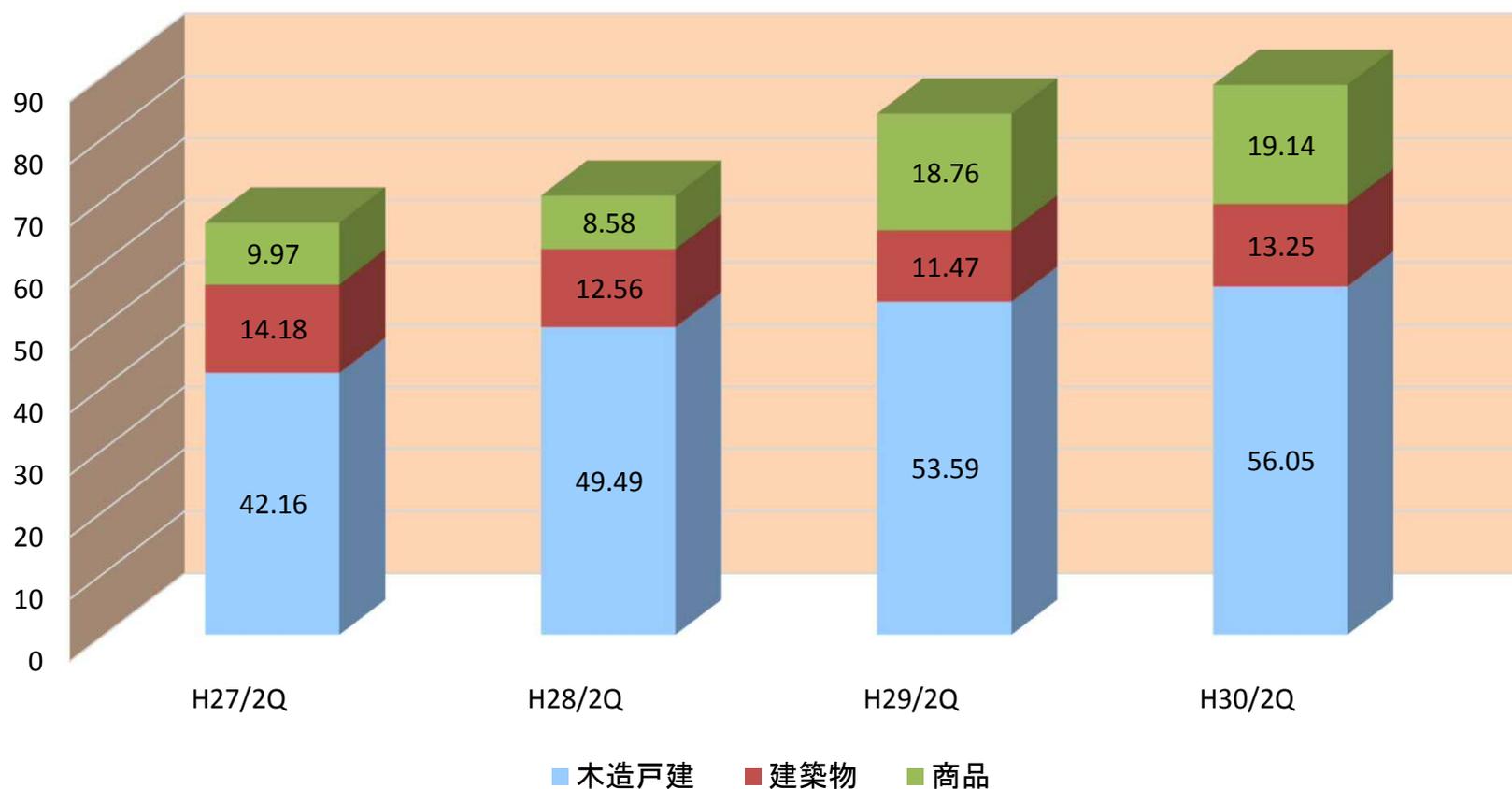


全体業績

売上高**88**億4千4百万円（対前年**5.5%**増）

部門別売上高の増減

単位：億円



平成30年12月期第2四半期決算の概要

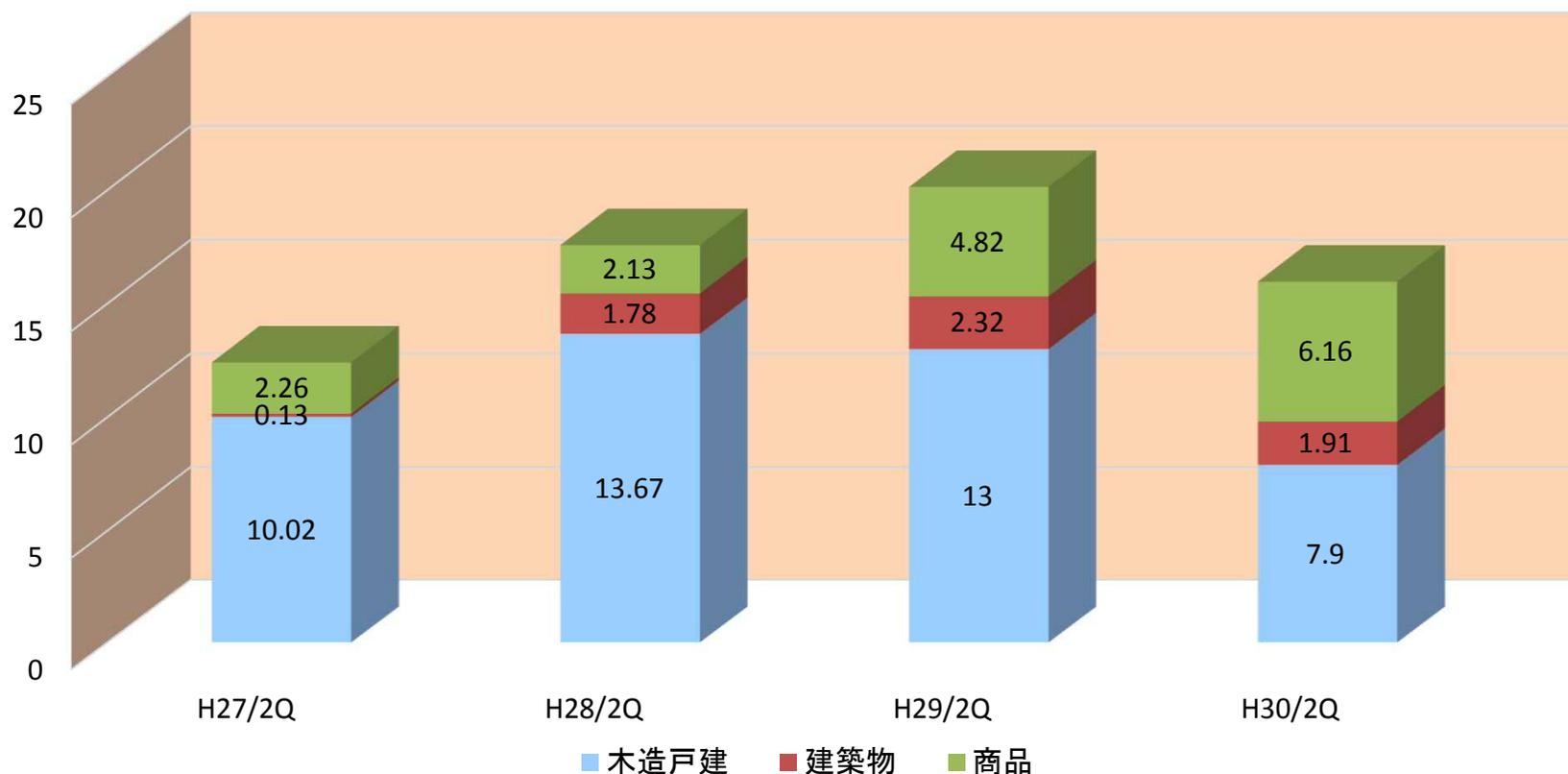


売上総利益**15**億97百万円（対前年**20.8%減**）

営業利益**45**百万円（同**92.8%減**）

部門別売上総利益の増減

単位：億円



	平成30年12月期 第2四半期実績	平成29年12月期 第2四半期実績	前年 同期比
	(千円)	(千円)	(%)
売上高	8,844,022	8,383,665	105.5
戸建住宅向け断熱材	5,605,214	5,359,548	104.6
建築物向け断熱材	1,325,274	1,147,289	115.5
商品販売	1,913,528	1,876,828	102.0
売上原価	7,245,816	6,368,449	113.8
売上総利益	1,597,404	2,015,216	79.3
(売上総利益率)	(18.1%)	(24.0%)	
販売費及び一般管理費	1,552,308	1,393,220	111.4
営業利益	45,096	622,844	7.2
(営業利益率)	(0.5%)	(7.4%)	
経常利益	42,175	614,114	6.9
(経常利益率)	(0.5%)	(7.3%)	
四半期期純利益又は 四半期純損失(△)	△5,216	396,599	
(四半期純利益率)	(—%)	(4.7%)	

B/Sサマリー



	平成30年6月期末 (千円)	平成29年12月期末 (千円)	増減 (%)
資産合計	13,448,927	12,806,324	+5.0%
流動資産	9,998,195	9,326,839	+7.2%
固定資産	3,450,731	3,479,480	△0.9%
負債合計	8,069,976	7,297,775	+10.6%
流動負債	7,753,181	6,903,134	+12.3%
固定負債	316,794	394,581	△19.7%
純資産合計	5,378,950	5,508,544	△2.4%
株主資本	5,378,732	5,508,138	△2.3%
評価・換算差額等	218	406	△46.1%
負債純資産合計	13,448,927	12,806,320	+5.0%

	H30 (1-6月) (千円)	H29 (1-6月) (千円)	主な変動要因
営業キャッシュ・フロー	△354,400	236,571	棚卸資産の増加
投資キャッシュ・フロー	△71,363	△402,591	大規模設備投資の減少
財務キャッシュ・フロー	754,786	△135,418	短期借入金の増加
現金同等物の増減額	329,022	△301,437	短期借入金の増加
現金同等物の期末残高	2,305,406	2,268,366	

平成30年12月期の見通し

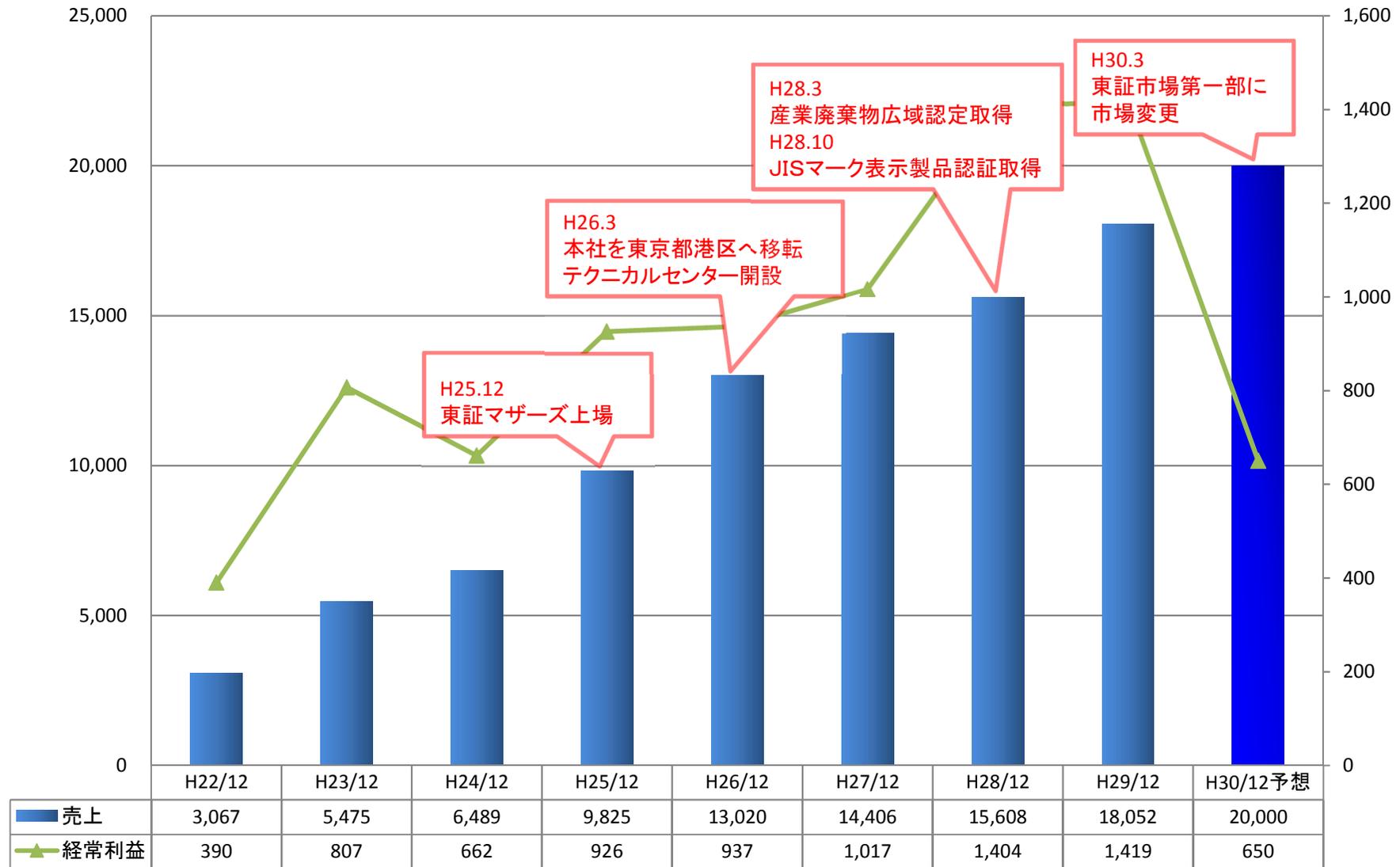


	平成30年12月期 見通し (千円)	前年 実績比 (%)	平成29年12月期 実績 (千円)	前年 実績比 (%)
売上高	20,000,000	110.8	18,052,875	115.7
戸建住宅向け断熱材	12,852,703	111.3	11,552,465	106.0
建築物向け断熱材	3,809,689	140.3	2,715,864	104.4
商品販売	3,607,609	95.3	3,784,510	179.9
売上原価	16,149,601	117.6	13,735,625	118.6
売上総利益	3,850,399	89.2	4,317,249	118.6
(売上総利益率)	(19.3%)		(23.9%)	
販売費及び一般管理費	3,206,193	107.2	2,992,138	114.1
営業利益	650,204	49.5	1,313,594	93.6
(営業利益率)	(3.3%)		(7.3%)	
経常利益	650,245	45.8	1,419,305	101.1
(経常利益率)	(3.3%)		(7.9%)	
当期純利益	379,000	40.3	941,270	96.1
(当期純利益率)	(1.9%)		(5.2%)	

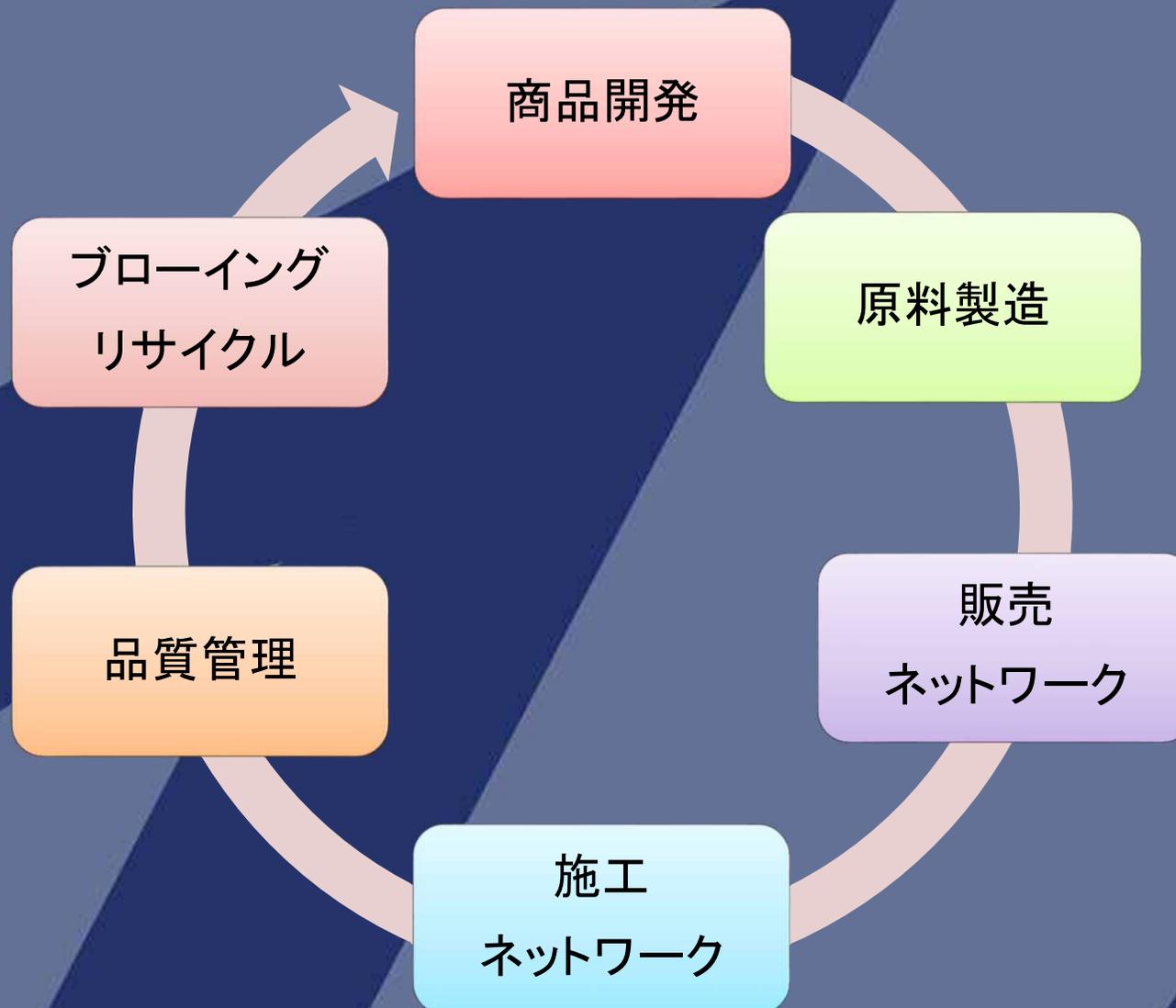
業績の推移(予想)



売上 **200** 億



事業戦略



商品開発【テクニカルセンター】



ジャーマン・インダストリー・パーク外観写真

テクニカルセンターは東京や横浜にアクセスが良く、ハイテク企業が集約する横浜市の白山パーク内ジャーマンインダストリーパークに、2013年に設置されました。

アクアフォームの原料開発から製品の品質保証・品質管理、また試験吹きによる施工の安定性の確認などを、テクニカルセンターに集約することで、あらゆる段階でのサポートを可能にしています。

名称 株式会社日本アクア テクニカルセンター

所在 〒226-0006

神奈川県横浜市緑区白山1-18-2

ジャーマン・インダストリー・パーク4F



テクニカルセンターの増床と研究



**Construction Material
Panel Molding Press**
建材パネル成形プレス

注入パネルの研究を行っています。
用途としては、

- ・ 建材パネル
- ・ トンネル止水
- ・ 低温倉庫

その他幅広い分野に展開可能です。



5月にテクニカルセンターを2倍に増床し、新たな設備の導入を行いました。

東京大学大学院工学研究科野口研究室と平成28年度から
当社が開発している不燃材料等各種発泡プラスチック系断熱材の燃焼特性に関する
共同研究を実施しております。

今までの研究成果としては以下の学術発表等を実施しています。

2017年8月 日本建築学会大会(広島工業大学)
「発泡プラスチック系断熱材の燃焼特性の基礎研究」

2018年3月 日本建築学会関東支部研究発表会(日本大学)
「発泡プラスチック系断熱材の燃焼特性の基礎研究：
発泡プラスチック系断熱材のコーンカロリメーターに
よる発熱及び質量減少試験」

2018年9月 日本建築学会大会(東北大学)1件発表予定

Ultra Fast-Cure Polyurea Spray 超速硬化ポリウレアスプレー



防水用ポリウレアの研究を進めています

用途としては、

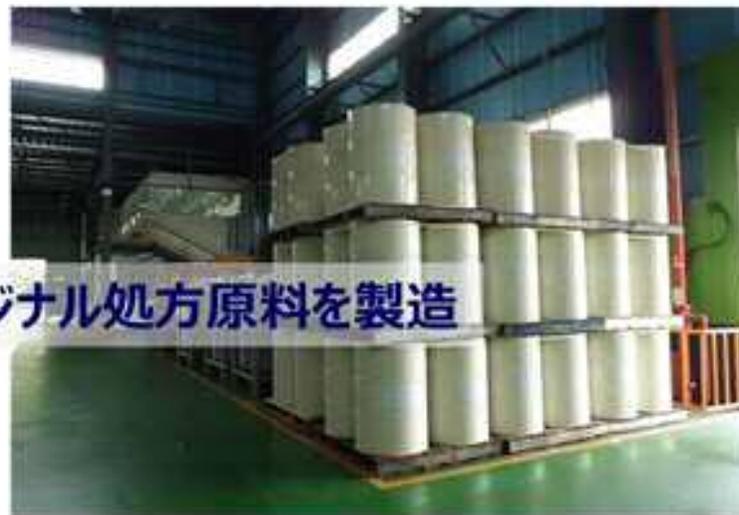
- ・ 屋上防水
 - ・ マンションの共用部分防水
- などで利用されています。



原料製造（ブレンドから品質管理まで）



国内外のプラントにて当社オリジナル処方原料を製造



JISマーク表示製品認証を取得



委託先工場を管理する形で日本初！

当社の製造する鋳工業品（自社製造原料）及びその加工技術の工場並びに事業所について、JISマーク表示製品として認証を取得。

全国原料製造、生産拠点



営業所、物流6拠点；2017年度は営業所を埼玉に開設、
原料製造5拠点；2017年九州大牟田の委託加工先スタート
海外2拠点（韓国、タイ）

- スtockポイント（物流拠点）・危険物倉庫
- 原料製造拠点



販売ネットワーク (断熱メーカー随一の営業所数)



岡山営業所



大阪営業所



仙台営業所

全国40拠点

営業所にストックポイントを新設し
日本全国へ効率的に製品出荷



埼玉営業所



鳥栖営業所



名古屋営業所



本社



テクニカルセンター
(H30.増床)

施工ネットワーク (断熱業界最大規模)



トレーニングセンターで技術習得
サポートする体制も万全

中部
ブロック

東北
ブロック

関東
ブロック

北陸・
甲信越
ブロック

中四国
ブロック

施工台数**500**台
認定施工店**374**社
施工人員**1000**名

九州
ブロック

関西
ブロック



アクアブローによるリサイクルの取り組み



再資源化の流れ

端材を回収

粉碎機に投入

粉碎

完成

名古屋工場



仙台工場



名古屋・仙台のアクアブローファクトリー



2017年アクアブロー生産量は
4,713袋 (23,310kg)

CO2抑制量 59.44t

アクアブロー再資源化の取り組み
は1年間でブナの木**5,400本分**の
CO2を吸収しています。



アクアフォームを再資源化

アクアブローから始めるCSVの取り組み

CSVとは、CSR（企業の社会的責任）の発展形と言われることもありますが、CSVは、企業にとって負担になるものではなく、**社会的な課題を自社の強みで解決**することで、企業の持続的な成長へとつなげていく「**3方良し**」の差別化戦略です。



2017年アクアブロー生産量は4,713袋（23,310kg）CO2抑制量 59.44t

アクアブロー再資源化の取り組みは1年間でブナの木**5,400本分**のCO2を吸収しています。

※産業廃棄物の廃プラスチック類の焼却に伴い発生するCO2については、「温室効果ガス排出量計算のための算定式及び排出係数一覧」（環境省）

ブナの木1本のCO2吸着量は独立行政法人 森林総合研究所試算を参考にしています。

營業戰略

木造戸建住宅向け断熱材事業



売上計画125.8億円（対前年6.4%増）

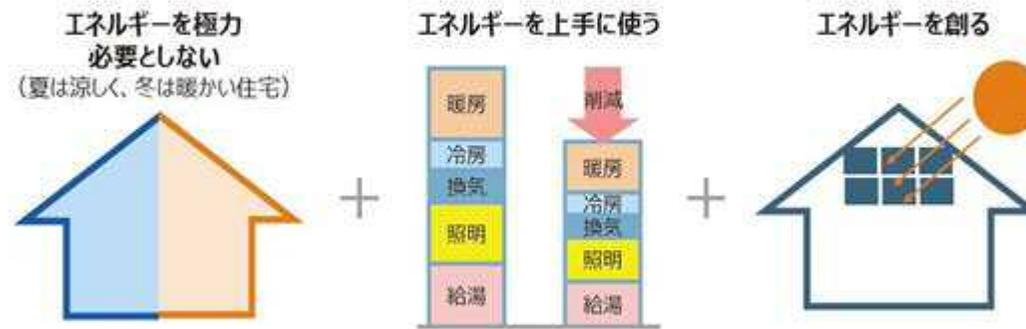


当社主宰の省エネ基準講習会の様子

ZEHの実現・普及及び目標が国により設定



ZEHは、快適な室内環境を保ちながら、住宅の高断熱化と高効率設備によりできる限りの省エネルギーに努め、太陽光発電等によりエネルギーを創ることで、一年間で消費する住宅のエネルギー量が正味（ネット）で概ねゼロ以下となる住宅。



- 国の「エネルギー基本計画（2014年4月閣議決定）」において、ZEHの実現・普及及び目標が設定されている。
 - 2020年までに、標準的な新築住宅でZEHを実現
 - 2030年までに、新築住宅の平均でZEHを実現
- 未来投資に向けた官民対話（平成27年11月）
総理発言抜粋「住宅の省エネを促進します。2020年までに、ハウスメーカー等の新築戸建ての過半数をZEH化するとともに、省エネリフォームを倍増します。」

住宅の省エネ化を強かに推進

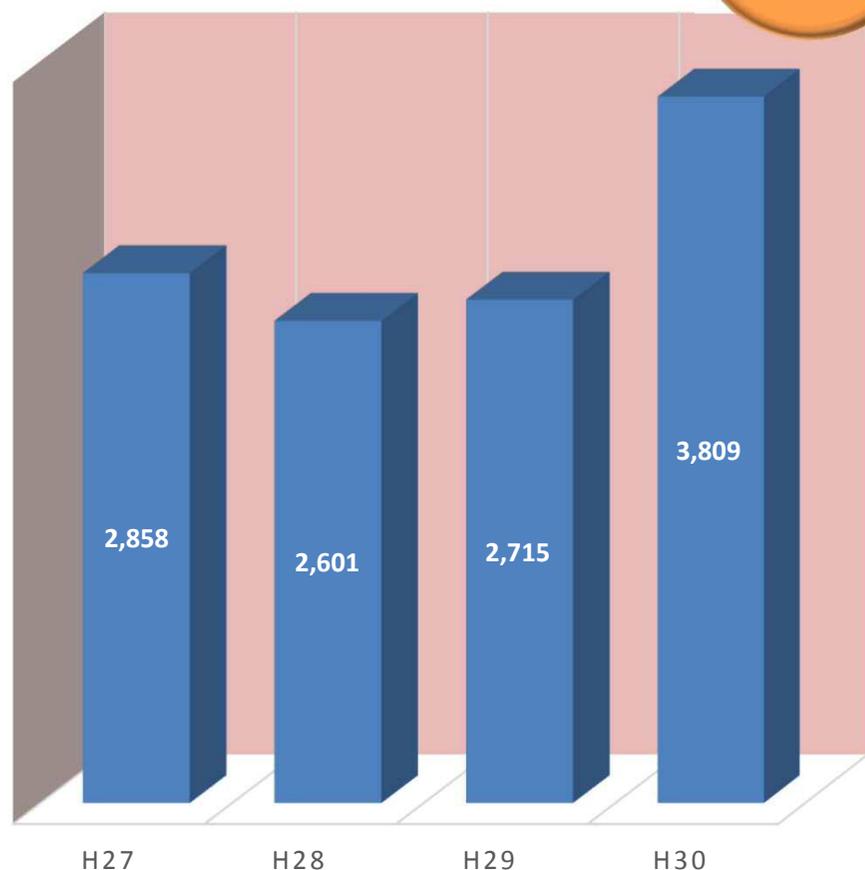
売上計画38億円（対前年40.3%増）

単位：百万円

年度末売上高計画

■ 売上高(見込み)比較

前年比
140.3
%



当社のブローイング工場の
一般社団法人日本建設業連合会及び
大手ゼネコンによる視察の様子

大手ゼネコンの産廃再資源化モデル構築



広域認定とは？：環境省が認定する産廃許可の特例。複数のエリアで自社の製品から発生した廃棄物を再生する取組みの特例許可となります。



ホーム > 建設 > 広域認定制度【メーカー一覧】 (特記日本アクア 認定第253号)

(株)日本アクア 認定第253号

循環型社会 建設副産物対策	
広域認定制度	0 再生方法・場所
広域認定制度【メーカー一覧】	<p><再生方法> 日本アクア製造の原料を使用した現場発泡ウレタン断熱工事時に発生したウレタン断熱材端材、ウレタン製のフローイング断熱材(特許取得)の原料として再利用</p> <p><処理施設場所> 名古屋工場 愛知県名古屋市長区東政町1-35-1(株) 日本アクア名古屋営業所内 仙台工場 宮城県仙台市宮城野区番竹3-4-20(株) 日本アクア仙台営業所内</p>
廃棄物の発生量(原単位認定)	0 手続き
パレット(汚染土壌の取扱いについて)	<p>回収前</p> <ul style="list-style-type: none"> ・抽出事業者(本社または支店)と日本アクア間で基本契約の締結 <p>回収現場</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「回収依頼書」の記入・日本アクアの管理営業所へFAX(回収日・施工予定数量等)→ウレタン端材の回収 ・受渡確認書の発行
個別廃棄物Q&A	
特別な廃棄物等処理マニュアル 第四版	

広域認定の基本契約は、スーパーGC5社をはじめGC37社と締結済。オリンピック案件も含め70件以上の採用が決まっている。

広域認定契約の締結先



- ・大林組・鹿島建設・竹中工務店・大成建設・清水建設・戸田建設
- ・三井住友建設・前田建設工業・千歳建設(山形)・要建設(京都)
- ・東急建設・ユーマーマンション(鹿児島)・アイザワ工業(岡山)
- ・東レ建設・東洋建設・神崎建設工業(宮崎)・東亜建設工業
- ・NIPPO・吉原建設(宮崎)・イチケン・芝浦建設(福岡)
- ・大日本土木・浅沼組・第一建設工業・フジタ・日本建設・西松建設
- ・ノバック(兵庫・東京)・仙健工業(宮城)・阿部建設(宮城)
- ・熊谷組東北支店・加賀田組・北野建設(長野・東京)
- ・萩野工務店(宮城)・UDK(埼玉)・山一地所(宮城)
- ・斎藤工業(埼玉)

現在、日本建設業連合会のホームページにて、日本アクアの広域認定の取組みを公開中。

売上計画36億円（対前年4.7%減）

単位:百万円 年度末売上高計画

■ 売上高(見込み)比較



前年比
95.3
%



専用発泡機

8 棟換気 軒換気
アクアスルー®棟・軒



販売用原料

6 壁用 遮湿・防水シート 遮熱
AQUA SILVER WALL Lite
アクアシルバーウォール®ライト

特徴

遮熱性

- 特殊なアルミ遮湿防水フィルムを採用し、長期に渡り効果的な遮熱が可能。
- 屋内の冷暖房効率が向上し、省エネルギーに貢献。

「熱カット率98%以上」アルミ遮湿防水フィルム(片面)で高い遮熱性能を確保。

遮湿性・防水性・防風性

- 壁体内の湿気を外に逃がして結露を防止、また外部からの雨水や風の侵入を防ぎ、断熱材の性能を維持しつつ、住宅の寿命を向上。

施工性

- 1本、4.25kgと軽量で作業性も良好。直径も小さいため片手で施工できます。



※外壁材裏面と遮湿シート間の通気確保についてはご注意ください。

リフォーム断熱事業（商品販売）



築20年以上経過の家

住宅ストック約5,000万戸の断熱性能

4割が断熱なし

出典：国土交通省「住宅ストック調査報告書」による調査結果の集計(2013年)

床下から冷たい風が...

このままだと危険です!

ヒートショック発生!

アクアフォームで断熱すると

暖かくなったか!

アクアフォームなら安心です!

右隣国・トイレも冷え知らず!

交通事故死亡者 < ヒートショック死亡者

外より家がキケン!?

ヒートショック

ご存知ですか?

▶ 交通事故より死亡率が高い

真冬の住宅は室温差が命取りになります。特に高齢者は注意が必要で、外出するよりよっぽど危険度が高いのです。

交通事故死亡者数 3,694人

ヒートショック死亡者数 全国19,000人

出典：国土交通省「平成29年中の交通事故死者数」地方独立行政法人東京都健康長寿医療センター調べ



※「平成29年中の交通事故死者数について」「厚生労働省科学研究費補助金 入浴中関連事故の実態把握及び予防対策に関する研究」(2014年)

24時間全館空調システム「風運時」



家中心地よい**風**につつまこまれ
 快適な室温を**運**び届けると共に
 家族の幸せな**時**を創り続けます

風運時
foo~unji
 -スマート空調-

蓄熱室

小屋裏に1坪ほどの大きさの蓄熱室を設け、エアコン1台で加熱・冷却した空気を溜め込み1階用と2階用のファンで各部屋へ送り込むことで、全館を一定の温度に保ちます。蓄熱室へはメンテナンスなどで出入りできるよう、点検はしこを設置します。



※日立社製の「省エネの達人プレミアム」をご利用しています。

エアコン(室内機)



送風機(ファン)

- 大風量のファンで静粛なく送風。
- 1階用と2階用で個別に送風。



点検はしこ

- 断熱気密型の手掛付きはしこ。



24時間換気

省エネ性・メンテナンス性に優れたダクト式第3種換気システム。嫌な匂いを換気するだけでなく、花粉やカビ、結露の原因になる水蒸気や健康を害する汚染物質を確実に換気します。



任意の店舗を考慮
 日本住環境株式会社

断熱材

アクアフォーム

断熱性能の高さはもちろん、発泡することにより現場の形状にぴったりと密着するため、気密性の高い施工を実現。自己接着力で永く断熱性能を維持します。



海外への展開 フィリピン



「AAA」 平成28年7月24日設立

Aquafoam Asia Associates Inc (AAA)

【特 徴】

- (1) 業務拡大に伴う積算量の増加に対応
- (2) 有能な人材の確保
- (3) 積算特化によるコストカット



フィリピン ダバオのスタッフ



外国人実習生も積極的に受入れ



フィリピン マニラのスタッフ

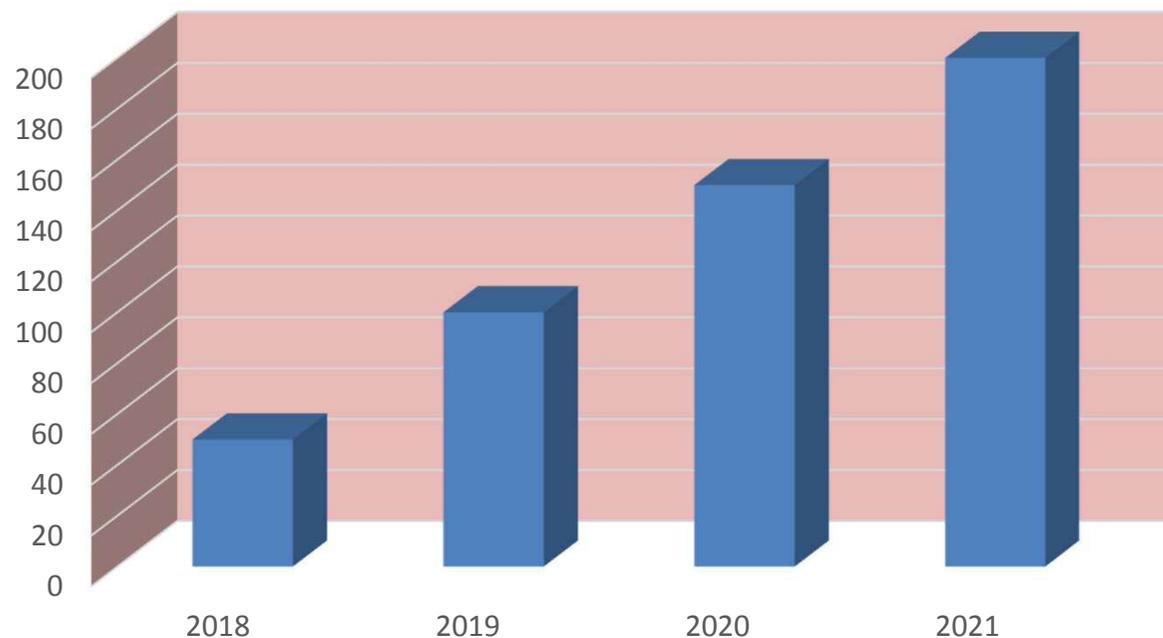


ヒノキヤグループと日本アクアがベトナムに進出します！！



Future Insulation Work Plan (houses)

今後の施工計画(棟)





- 会社名 株式会社 日本アクア (Nippon aqua Co., Ltd.)
- 代表取締役 中村 文隆
- 本店所在地 〒108-0075 東京都港区港南2-16-2
- 事業内容 建築断熱用硬質ウレタンフォームの開発・製造・販売・施工
住宅省エネルギー関連部材の開発・製造・販売
- 従業員数 448人(単体:平成30年6月末現在)
- 設立年月日 平成16年11月29日
- 資本金 18億96百万円
- 発行済株式総数 34,651,000株(平成30年6月末現在)
- 株主数(平成30年6月末現在、総株主数4,717名)



本資料に記載されている当社の業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいて判断したものであり、実際の業績等はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。

お問い合わせ先 : 株式会社日本アクア
経営企画部
電話番号 : 03-5463-1117
Web : <http://www.n-aqua.jp/>